



大タブの前に立ち、そこに宿る力を  
感じ取る静かな時間を持つことが、  
とても貴重に感じられました。

**木を長生きさせるための管理**

大タブの一生は、人間の一生とはま  
るでスケールが違います。老木といえ  
ども枝先までツヤツヤとした葉が茂  
り、太い枝には青々とした苔や草が  
生え、確かな生命力が感じられます。  
ただし「手入れをおろそかにすると、  
あつという間に木が劣化してしま  
います」と語る中山住職。歴代の住職  
にとって、大タブを長生きさせるこ  
とは使命の一つだったと言います。

例えば、太い枝を支えるため、か  
つては木製の支柱がありました。約  
20年前にコンクリート製の支柱に  
作り変えられました。現在4本の支柱が  
立っていますが、そのうち1本は支  
える枝が折れてなくなり、支柱だけ  
が残っています。

「大雨や強風、台風のと きなどは



木造建築時代の本堂



現在の本堂。こま犬は当時のまま



朱塗りの釈迦堂。  
かつては「木造釈迦涅槃像」が安置されていた

木が無事か気になり、こまめに見る  
ようにしています。折れた枝が落ち  
ると危険ですし、折れた断面から菌  
が入らないように適切な処置をする  
必要もあります。現在は樹木医に木  
の状態を診てもらったり、造園業者  
に適切に肥料を施してもらったりす  
るなど、専門家の力を借りて大タブ  
の維持に努めています」

**子孫に受け継がれる命**

神善寺の境内では、他にも大きく

に並ぶ石仏について、60体余り  
の石仏が、参道で  
はなく木の方を向  
いて安置されてお  
り、お参りに来た人に  
背を向ける格好となっています。  
「石仏は弘法大師様です。お大師  
様の力もお借りして大タブを守って  
いこうと、地域の檀家さんたちが善  
意で寄進してくださいました。そう  
いうご利益もあってか、台風が直撃  
したときに太い枝が折れたものの、  
不思議なことに真下にあるお大師様  
をよけるように枝が落ちたのです。  
大タブとお大師様が互いに守り守ら  
れていたのかと、科学では証明でき  
ない出来事として強く印象に残って  
います」

静かに大タブを見守り続けている  
お大師様は、長い歳月を経てお顔や  
刻まれた文字がすり減っています。  
しかし、今も色鮮やかな花が供えら  
れたり、手作りのタスキが掛けられ  
たりして、地域の皆さんに大切にさ  
れている様子が伝わってきました。

**自分を守るため膨らんだコブ**

もう一つ、波崎の大タブの特徴で

「どれも長年かけて自然に繁殖し  
たものです。今も境内の地面のどこ  
かで、芽吹いているかもしれません。  
こうして命がつながっていく自然の  
力は偉大ですね。人間も同じです。  
自分一人で生きているわけではなく、  
ご先祖様がいたから自分がいるとい  
うことを忘れず、人のつながりを大  
切にしてもらいたいと思います」

そう語る中山住職の話は、さらに  
物の命へと発展していききました。「私  
自身、木の枝を払うことはありま  
すが、根元から完全に命を絶つこと  
は決してありません。例えば、皆さ  
んが使っている机は木の命をいただ

ある巨大  
なコブに  
ついて中  
山住職に  
聞いてみ  
ました。  
根元近く  
の幹が抱  
えるコブ  
は、なぜ  
これほど  
までに大きく膨らんだのでしょうか？  
「木が長年生きている中で、鳥が  
ついたり虫が入り込んだりと、さ  
まざまな原因で傷がついて菌が侵入  
することがあります。そのときに木  
の抗体が菌と戦うことでコブができ  
るといわれています。火災で焦げた  
ときも、自分を守るためにコブが膨  
らんでいったと思われます。

もう一つの見方として、檀家さん  
に降りかかる厄災や悩みを受け止め  
た証しがコブとなって現れ、その都  
度大きくなってきたのではないかと  
そう思うこともありますね」

巨大なコブに1000年を超える  
足跡が刻まれていると思うと、畏敬  
の念が湧いてきます。長年生きた木  
は、長寿の象徴でもあると言います。

いて日用品になった物。だからこそ、  
樹木を大切にすると同じように、  
物を大切にしなければなりません」

私たちは木造建築や木製の日用品、  
また薪などの燃料として、昔からた  
くさんの木材を利用してきたことを  
考えると、樹木への感謝の気持ちを  
忘れてはいけなと改めて考えさせ  
られました。

いろいろなことを感じさせてくれ  
る波崎の大タブ。皆さんはその前に  
立ったとき、どのような思いを巡ら  
せるのでしょうか。地域の宝として大  
切にされてきた巨樹に、会いに行っ  
てみませんか？



中山住職



根元近くの巨大なコブ